

市民病院だより

境界型糖尿病

糖尿病専門医 中川内玲子なかかわちれいこ

境界型糖尿病とは？

境界型糖尿病とは、糖尿病診断時に行う検査の一つである経口ブドウ糖負荷試験(75gOGTT)の結果が、糖尿病型にも正常型にも属さない血糖値を示す群です。

境界型と判定された人は、境界型のまま長くとどまることもあれば、正常型に変わることもありえます。一方、糖尿病は境界型の段階を経て発症することがわかってきているため、境界型と判定された人は糖尿病に向かって進んでいる可能性があります。境界型の人が糖尿病を発症する率は、正常型の人に比べてはるかに高くなります。

放置していませんか？

病院を受診した時や健診結果

で、「ちよつと糖尿病の気がありますね」、「血糖の精密検査をう

けてくださいな」と言われたのを放置していませんか？

そのような人がいらつしやいましたら、ぜひ医療機関を受診していただき、空腹時血糖値が100〜125mg/dlの人や、HbA1cが5.6〜6.4%の人などは、75gOGTTなどの検査を受けましょう。

75gOGTTが推奨される場合

① 強く推奨される場合

(現在糖尿病の疑いが否定できないグループ)

・ 空腹時血糖値が110〜125mg/dlのもの

・ 随時血糖値が140〜199mg/dlのもの

・ HbA1cが6.0〜6.4%のもの(ただし明らかな糖尿病の症状が存在するものを除く)

② 行うことが望ましい場合

(将来糖尿病を発症するリスクが高いグループ、高血圧、脂質異常症、肥満など動脈硬化のリスクをもつものは、特に施行が望ましい)

・ 空腹時血糖100〜109mg/dlのもの
 ・ HbA1cが5.6〜5.9%のもの
 ・ 上記を満たさなくても、濃厚な糖尿病の家族歴や肥満が存在するもの

(糖尿病治療ガイド2016-2017より)

境界型糖尿病と診断されたら？

境界型は、糖尿病に準ずる状態であり、また動脈硬化を促進する病態でもあり、3〜6カ月に1回程度の間隔で代謝状態を評価しましょう。体重増加や運動不足とならないよう、生活習慣を見直すことが大切です。また経口ブドウ糖負荷試験で正常型と判断されても、ブドウ糖負荷後1時間の血糖値が180mg/dl以上の場合には、糖尿病に進行する危険があるので境界型に準じた注意が必要です。軽く考えずに、ぜひ医療機関を早期に受診してください。

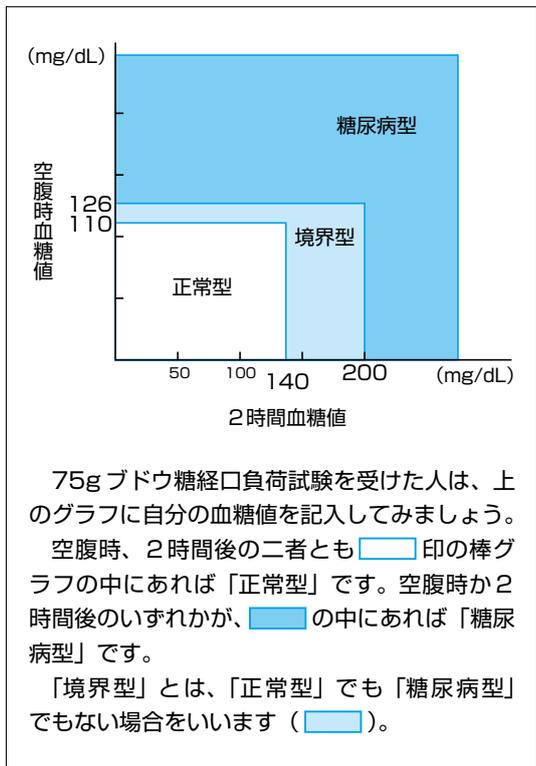


図) 経口ブドウ糖負荷試験の判定 (糖尿病治療の手びき 改訂版第55版より)

お知らせ

糖尿病食事を開催します

- ・ 日時 11月9日(木) 11時~12時30分(予定)
- ・ 場所 小城市民病院 3階研修室
- ・ 定員 先着20人
- ・ 参加費 500円

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 (糖尿病コーディネート看護師 江頭)